

西箕輪山麓マウンテンバイクフィールドプロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

西箕輪地区は中央アルプス北部の経ヶ岳山麓東に広がる地域で、標高 900m に位置し、野菜・果樹等の畑作振興が行われている。平成 6 年に羽広地区で温泉が掘削され、平成 9 年に日帰り温泉施設「みはらしの湯」、平成 11 年には羽広農業公園「みはらしファーム」が誕生し、年間 50 万人を超える体験型農業公園として発展してきたが、来園者は徐々に減少傾向にあるため、周辺の自然環境を生かした新たな魅力づくりが課題となった。

伊那市では、みはらしファームと連携した観光振興の推進を目指し、平成 29 年度から地域おこし協力隊による「みはらしマウンテンバイクフィールドプロジェクト」を開始した。自然の地形を生かしたマウンテンバイクの初中級者向けコースと上級者向けコースを整備し、訪れる方が豊かな自然を体験する場として地域の魅力を発信する。

事業内容

【平成 30 年度】

- エントリー（初・中級）コース（総延長約 3.5km、整備コース約 2km）の設置
- マウンテンバイク 15 台（大人用 2 台、子ども用 13 台）ヘルメット（23 個）の購入

【令和元年度】

- 自然植物園（上級者）コース（延長約 2.2km）の設置
- 地域住民参加によるコース周辺の環境整備 20 名参加



【森の中を滑走するトレイルライド】

事業効果

- 魅力ある観光地づくり
みはらしファーム周辺の山林内にコース整備を行うことにより、若い年代の客層が増加し、収穫体験、ものづくり体験や農産物直売所などへ誘客の相乗効果が見られた。
- 山林の有効活用
山林の中に幅 1 メートル程度のコースを作っていくため、山の形状を大きく変えずに活用でき、茂った藪等を払うことで、森林の保全につながった。
- 地域の活性化
健康的でエコなスポーツとして利用してもらうことができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 伊那市自転車活用推進計画の 4 目標の一つとして「サイクルツーリズムの推進による新しい観光開発」があり、体験型旅行など観光地域づくりと既存の自転車アクティビティとの連携による地域振興に取り組むたい。
- 周辺山林内では、不法投棄が後を絶たない。コース利用者には周知徹底を図っているが定期的なパトロールを行い、抑止に努めるとともに、自然災害による風倒木の処理等による山林の保全、利用に伴う安全対策等について、地域との連携を強めていきたい。
- 運営が安定し継続できるよう、イベントやマウンテンバイクライディング講習会を開催しリピーターの確保やみはらしファーム等と連携した PR 効果を高め、新たな誘客を図りたい。

【選定のポイント】
地域の自然環境（森林資源）を活用し、住民との協働によりマウンテンバイクを西箕輪地域の新たな観光資源として生み出し、定着させた。今後、近隣施設との連携により、利用者数のさらなる増加が見込まれ、発展が期待される。

団体名	西箕輪地域協議会（伊那市）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	伊那市地域創造課西箕輪支所 0265-72-2319	事業費	4,180,000円
		支援金額	1,000,000円